

今日から大人の仲間入り

二百四十五人が新成人に

第三十九回日光市成人式が、一月十五日、総合会館大ホールで行われました。

式典前に成人者全員が、恒例の記念写真。

今年、新しく大人の仲間入りをしたのは、男百十六人、女百二十九人、計二百四十五人。

式典は、華やいだ雰囲気の中にも厳肅さが漂い、斎藤市



長から「激しい社会の変化に対応できるように、自己研鑽につとめ、悔いのない人生を切り開いて、地域社会の期待に応えて欲しい」と励ましの言葉が贈られました。

このあと、新成人を代表して尾田信行さん（野口）が「私達は、これから厳肅な決意を胸に、判断力と実行力を各自の責任とし、勇敢かつ慎重に行動できるように、自己完成に努め、社会の一員として、地域社会の共存共栄につとめることのできる、真の成人者になれるよう、最善の努力をつくします」と決意も新たに宣誓の言葉が述べられました。

また、各界関係者からの祝福と、二荒山神社、東照宮、輪王寺及び市から記念品が贈られました。

一時間の式典が済むと、新成人たちは、久しぶりに会う同級生らと記念撮影や想い出話に花を咲かせていました。

冬本番

天然氷の切り出し

寒さの厳しい日光の冬の風物詩の一つにあげられるのが天然氷の切り出し。

切り出しは、シーズン中に三〜四回行われ、オガクズに包まれ、夏までの約半年間、氷室で保存されます。作業は、電動ノコギリで、縦九十センチ、横四十五センチ、厚さ十五センチに切れ、竹のレールのの上を滑って氷室へと運ばれます。

今年の夏は、おいしい水で作られた天然氷、一度、味わってみてはいかがですか。



少しカッテが違います ＝日光氷上つな引き大会＝

ホット・ウインター・フェスティバル実行委員会主催による「日光氷上つな引き大会」が十二月二十一日、日光スケートセンターで行われました。

優勝チームはグアム旅行招待とあって、県内外から五百七十四人が参加。

競技は一チーム七人で、五十メートルの綱を三十秒間引きあうもので三回勝負、先に二勝した方が勝となります。

おもいおもいのカラフルな服装に長ぐつという楽しいスタイル。ツルツル滑る氷上の力くらべとあって、バランスがとれずあちこちでスッテン・コロリン、はでな喚声と笑いが続きました。

三時間にわたる熱戦の結果、男性は野口の「八一」チーム、女性は所野の「みどり」チームが見事グアム旅行を獲得しました。

